

一般向け【DVD・約22分】

運転中自然災害が… ①一般道路編

地震・雨・雪道での危険回避



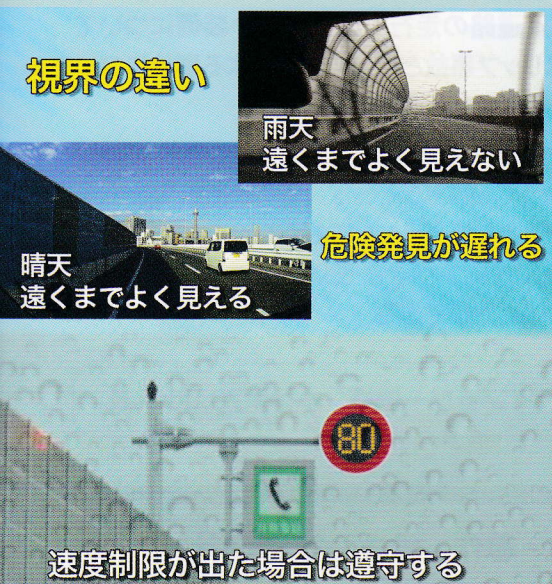
見えにくさが危険の発見を遅らせる

斜面・がけのそば
トンネル出口のそば
橋の上
架橋の下
駐車を避ける場所

一般向け【DVD・約20分】

運転中自然災害が… ②高速道路編

地震・雨・雪道での危険回避



視界の違い

雨天
遠くまでよく見えない

危険発見が遅れる

晴天
遠くまでよく見える

80

速度制限が出た場合は遵守する



企画意図

車を運転中に地震やゲリラ豪雨に遭遇したら……、ドライバーはどのように危険を回避したらよいのでしょうか。基本的な知識はわかっているとしても、いざという時にはパニックに陥り、正しい運転や行動をとれないことが、これまでの事故事例からも数多く報告されています。

この作品では、一般道路・高速道路それぞれの交通場面で自然災害が発生した時どう対処すべきか、具体的な映像で捉え、正しい知識や日頃の備えの大切さを訴えます。ドライバーにとって常識的なことではありますが、映像をあらためて見ることで再認識し、近い将来必ず発生すると言われる巨大地震や頻発する豪雨など、自然災害発生時の安全運転につながるよう意図したものです。

一般向け
約22分

運転中自然災害が… ①一般道路編 地震・雨・雪道での危険回避

■運転中の地震

活断層が至るところに走る日本列島では、いどこでどのような規模の地震が発生しても不思議ではない。

大きな地震に気づき、運転を続けることに危険を感じた場合の安全な停車方法や、車を置いてその場を離れる際に注意すべき点について説明する。

また、地震で最も警戒すべき津波についても急いで高台に避難するよう訴える。

■雨天時の走行

交通事故の発生する割合は、雨の日に極めて高くなっている。視界が悪くなり、危険を発見しにくくなること。路面が滑りやすく、制動距離が延びること。特に雨の降り始めが滑りやすいこと。この3つが原因として挙げられる。

これらのポイントについて、それぞれの問題点と対策を考えて

いく。

■雪道の走行

雪道には様々な危険が待ち受けている。積雪や凍結によるスリップ事故への備え、激しい雪・地吹雪・積雪により道路状況が見えにくい時の対応、そして動けなくなった時の対応について見ていく。

■自然災害に遭遇したら

もし自然災害に遭遇したらどのように対処すべきか、正しい知識を持っておくことで、被害を最小限にとどめることができる。もう一度自分の運転、備えを見直そう。

■ライブラリー価格 本体 ¥ 70,000+税

一般向け
約20分

運転中自然災害が… ②高速道路編 地震・雨・雪道での危険回避

■高速道路の地震

新しく建設される高速道路では耐震性の高い工法がとられ、それ以前の高速道路では大規模な補強の工事がすすめられてきた。

しかし、たとえ道路の損壊は防げたとしても、地震そのものを防ぐことはできない。そこで地震発生時に高速道路での事故を避けるためには、どのように運転すれば良いのかを見ていく。

■雨天時の走行

雨の日は事故の発生率が非常に高くなっている。視界が悪くなること、路面が滑りやすくなることが原因として挙げられる。

高速道路での死亡事故は、速度・夜間・雨が三大要因ともいわれていることを心にとめ、雨の日は速度を落とすこと、車間距離を十分とること、早めのライトの点灯が必要であることを訴える。

■雪の高速道路

一般道と異なり激しい積雪では通行止めになるため、立ち往生する可能性は低くなっているが、事故で動けなくなるケースも考えられる。雪の高速道路の走行で欠かせない装備について詳しく見ていく他、スリップ事故と視界の悪さによる事故についても注意を促していく。

■日頃からの備えが重要

地域や季節などによって、道路の環境は大きく変化する。日ごろからいざというときの備えをしておくこと、もし天災に遭遇した時はどのように対処すべきか正しい知識を身につけておくことで、事故を防ぐことができる。

■ライブラリー価格 本体 ¥ 70,000+税

監修 日本交通心理学会 主任交通心理士 野藤 智

協力 一般社団法人 埼玉県トラック協会

株式会社ムジコ・クリエイト

株式会社ネクスコ東日本イノベーション&コミュニケーションズ

企画・制作統括 高木 裕己 脚本・演出 細見 吉夫

制作・著作 株式会社 映学社

■DVD [カラー] ※字幕版も収録されています

■2019年・映学社作品

●お問い合わせ、お買い上げは……

北辰映像株式会社